

FIG 第4分科会（水路測量） 2007～2010年作業計画

先の第30回 FIG 総会及び「FIG 作業週間」（2007年5月・香港）において、第4分科会（水路測量）の2007～2010年作業計画が決定されたので、その概要を紹介する。

1. タイトル：水路測量

2. 委任事項

- ・ 水路測量
- ・ 水路測量技術の教育訓練及び専門技術能力の継続的開発
- ・ 海洋環境及び沿岸地帯管理
- ・ データ処理と管理
- ・ 海図と水深図、アナログとデジタル及び航海用電子海図(ENCs)

3. 使命

- ・ 分科会で活動しているメンバー協会やその他の関係機関からの国家代表としての活発な関与を通じ、水路測量者に対する FIG の目標・目的の周知促進を図ること。
- ・ グローバルな水路コミュニティ内で活動中の全姉妹組織との緊密な連携を進めること。
- ・ それらのサービスの提供において水路測量者を支援するガイドライン及び基準を策定すること。
- ・ 国際的な集会、会議及び委員会への参加を通じ、専門技術に関する情報を広めること。

4. 一般

第4分科会は、FIG組織の長期・短期両目標の達成に尽力しており、次の4年間の戦略は次期委員会の戦略と整合性を図り、かつ次の事項を含む。

- ・ 他の FIG 分科会、合同 WG との協力
- ・ 水路測量における最良の実用的ガイドの作成
- ・ FIG 地域行事への積極的な支援と参加
- ・ 組織の発展に関する FIG タスクフォース作業への貢献
- ・ 共通の適用事項が存在する国家測量・地図機関との協力
- ・ 新たな問題に対処するため FIG 会議の指示に対応
- ・ 国際水路機関(IHO)の能力強化委員会(CBC)に対する支援

5. 作業部会

作業部会 4.1—実際の水路測量

政策課題

- ・ 水路測量作業における新しい動向を監視し報告すること。
- ・ プロジェクト管理及び水路測量成果等の提供についての適正な実施事項を勧告すること。
- ・ 地域会議で水路測量継続教育(CPD)を提案するため様々な機会に対応すること。
- ・ 専門技術用語について国際諮問委員会(IAB)と共通化を促進すること。
- ・ 専門教育関係問題について FIG 第2分科会との協力すること。

委員長

John McCarthy(オーストラリア)

特定のプロジェクト

- ・ 水路測量プロジェクトを計画、管理するためのガイドラインを設定すること。
- ・ 国際水路協会連盟(IFHS) 特殊刊行物3「職業としての水路測量」の見直しを行うこと。
- ・ 地域で開催する水路測量継続教育(CPD)の能力強化策に関し、第4分科会 WG4.4を支援すること。

ワークショップ

- ・ FIG 作業週間、地域会議及びその他の主な分科会やワークショップ等への参加。

刊行物

- ・ 水路測量プロジェクト計画・管理ハンドブック。
- ・ FIG 作業週間には、WG メンバーやその他の専門家によって発表された特定の課題に関する技術論文を含む。

タイムテーブル

- ・ 出版案については、この計画の期間中、WG 委員長が作成する予定表に従い FIG 作業週間で発表される。

受益者

- ・ FIG メンバー協会、測量業経営者、国家測量・地図担当機関、大学並びに個々の測量技術者。

作業部会 4.2－基準とガイドライン

政策課題

- ・ 資格基準の開発と承認
- ・ 技術基準とガイドラインの見直し
- ・ 姉妹機関や他の適当な団体との協力
- ・ 測量関係団体に対する基準やガイドラインの使用の周知・促進
- ・ FIG 各種基準制定ネットワークとの協力

委員長

Andrew Leyzack(カナダ)

特定のプロジェクト

- ・ 水路測量に関連する“ISO TC211”に準拠する基準を見直すこと。
- ・ 各種国際基準の業界慣行に及ぼす影響を評価すること。

- ・ FIG 各種基準策定ネットワークに関し第4分科会を代表すること。
- ・ IHO の新しい水路測量マニュアルの見直しを行うこと。

ワークショップ

- ・ FIG 各種基準設定ネットワーク会議やその他の主要な分科会行事への参加

刊行物

- ・ FIG 作業週間は、新たな基準、ガイドライン、特定の課題等に関する FIG 各種基準設定ネットワークに提出される技術論文と報告を含む。
- ・ 「FIG 標準化ガイド」の維持管理に対する継続的な貢献。

タイムテーブル

- ・ 進行中の作業については、この計画の期間中、WG 委員長によって明示された予定表にしたがい、FIG 作業週間に報告される。
- ・ 2008 年 5 月までに IHO の新しい水路測量マニュアルの見直しを行うこと。
- ・ 2010 年 FIG 大会において最終報告を発表する WG

受益者

- ・ FIG 各種基準策定ネットワーク
- ・ 姉妹団体、国家測量・地図担当機関
- ・ FIG メンバー協会、業界・政府機関の測量技術者、大学等
- ・ 機器類やソフトウェアの作製・製造業者

作業部会 4.3－海域の管理

政策課題

- ・ 沿岸域の海浜付近の陸域管理に重点を置くこと。
- ・ FIG 刊行物 36 「海域の管理」の作成作業を促進すること。

委員長

Michael Sutherland (カナダ)

特定のプロジェクト

- ・ 沿岸地域社会における気候変動の影響(沿岸地域社会に関連する第7、第8分科会のその他の計画された活動に伴う協力)

ワークショップ

- ・ FIG 作業週間、地域会議及びその他の分科会のワークショップ等への参加。

刊行物

- ・ FIG 作業週間、地域会議及び他の分科会行事に関係する技術論文
- ・ 沿岸地域社会における気候変動影響に関する第8分科会との共同刊行物

受益者

- ・ FIG メンバー協会、政府、産業界、大学

作業部会 4.4－水路測量の経済効果

政策課題

- ・ 水路測量製品と各種サービスに関する費用対効果を確認
- ・ 投資として水路測量を促進
- ・ 専門職と有資格者の市場への進出
- ・ 組織の発展に関する FIG タスクフォースの支持
- ・ 必要に応じ専門技術の発展を集中させる努力を調整
- ・ 水路測量業務、訓練を果たすため、他にとり得る費用対効果の調査

委員長

Gordon Johnston (英国)

特定のプロジェクト

- ・ 水路情報から具現化される利点を示し、周知・宣伝するため、IHO 及び姉妹協会と緊密に協力すること。
- ・ 水路情報のユーザーに対し、高品質水路情報を使用する利点を実証し、それを支援すること。
- ・ 国際水路機関(IHO)能力強化委員会(CBC)を支援すること。

ワークショップ

- ・ FIG 作業週間、地域会議及びその他の主な分科会やワークショップ等への参加

刊行物

- ・ 専門職とサービスを市場に売り込む水路測量の経済効果に関する冊子
- ・ IHO の CBC 会議に参加することで、内部・外部報告書を作成する。
- ・ FIG 作業週間は、特定の課題に関する技術論文や WG メンバー及び他の招待専門家によって発表された技術論文を含む

受益者

- ・ FIG メンバー協会、政府の測量技術者、産業界、大学、IHO

6. 姉妹組織との協力

6.1 FIG/IHO 関係各種委員会

第4分科会は、「水路測量技術者・海図作製技術者の資格基準に関する国際諮問委員会(IAB)」の FIG 側代表を務めている。また、同分科会は IHO の CBC に参加し、IHO の能力強化計画を支援している。

6.2 FIG と国際水路協会連盟(IFHS)

第4分科会は IFHS と協力を開始、それによって連盟は 2006-2010 年作業計画に対する意見や情報などを提供するとともに、当分科会は、IFHS の各種会議などに対する後援や支持を継続して行う。例えば、当分科会は、IFHS 特殊刊行物(SP-3)「職業としての水路測量」を最新維持するための財政的援助などを提供した。第4分科会は専門技術の向上のため、意志の疎通と協力を促進し、各国の水路協会等団体(IFHS のメンバー如何にかかわらず)との連携を保つことが重要である。

注 記

1. FIGとIHOは、2004年5月アテネで署名された了解覚書の下で協力する。連絡窓口はIHB理事 Hugo Gorziglia氏である。
2. 「水路測量技術者及び海図作製技術者のための資格基準に関する国際諮問委員会」の役割は、国際資格基準を制定・最新維持するとともに、それぞれの教育機関が実施している水路測量訓練コースについてIHO国際認定の取得を求める当該教育機関の教育・訓練プログラムを審査・検討することである。国際諮問委員会(IAB)担当は元第4分科会委員長のAndrew Armstrong氏(米国)である。国際諮問委員会の現FIG代表はAdam Greenland氏(ニュージーランド)、Gordon Johnston氏(英国)、Mohammed Razali Mahmud氏(マレーシア)、Tiina Turnala氏(フィンランド)の4名である。
3. FIGと国際水路協会連盟(IFHS)は、2005年4月カイロで署名されたMoUのもとで協力する。担当はIFHS会長のPaul Hornsby氏である。

7. 国際連合各種機関との協力

第4分科会は、FIG会議の指示のもと、分科会の専門技術に関連する様々なトピックス（例えば海洋台帳）について、国連機関とともに協力、連携する。

8. 他のFIG分科会との協力

第4分科会は、次のとおり各分科会と協力する。

- ・ 第1分科会：標準化に関する課題について。
- ・ 第2分科会：専門技術教育に関する事項。
- ・ 第3分科会：水路関係情報の管理に関する事項。
- ・ 第5分科会：FIG刊行物37「水路測量のための垂直準拠海面」を見直し、必要に応じ改訂すること。
- ・ 第7分科会：海域空間管理について。
- ・ 第8分科会：沿岸地帯の都市計画。

9. その他の活動

分科会の各代表、水路コミュニティ及び一般団体等に対し、当分科会の作業への関与や作業内容の周知を行うため、分科会のウェブページを維持・管理するとともに、その他の関係先のホームページや新しいホームページ又は特別プロジェクトのネットワークとリンクさせること。“Hydrographic Journal”、“Hydro International”、“The International Hydrographic Review”、“Sea Technology and Lighthouse”などの水路関係各種出版物に対し、論説記事、報告、論文などを投稿すること。分科会の代表、姉妹団体及び各国水路関係団体等に配布するため、年2回発行の“第4分科会CD-ROM”を作成すること。

10. 各種行事

2006 - 「IFHS Hydro 2006」、ベルギー、11月6日～9日

- 2007 - 「国際水路会議」、モナコ、5月7日～11日
- 「FIG 作業週間」、5月、香港、5月13日～17日
- 「東南アジア測量者会議」、ニュージーランド・クライストチャーチ、10月29日～11月1日
- 「FIG 地域委員会」、コスタリカ・サンホセ、11月12日～15日
- 2008 - 「2008年カナダ水路会議」、カナダ・ビクトリア、5月5日～8日
- 「FIG 作業週間」、スウェーデン・ストックホルム、6月14日～19日
- 2009 - 「FIG 作業週間 4月～5月」、イスラエル・エイラト、5月3日～8日
- 2010 - 「FIG 第24回会議」、オーストラリア・シドニー、4月9日～16日

(訳者) 陶 正史

JFS第4分科会委員長

(財)日本水路協会専務理事